

---

## 「穿通枝皮弁による殿部褥瘡の二期的再建」に関するお知らせ

---

このたび、埼玉医科大学病院 形成外科・美容外科（以下、当科）で殿部の褥瘡に対して、手術を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学病院 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

### 研究の概要について

#### 1．研究の対象となる方

2017年1月1日から2021年12月31日の期間に、当科で殿部褥瘡の再建手術（皮弁術）を受けた患者さんを対象としております。

#### 2．研究の目的

殿部褥瘡は治療が難しく、いまだに手術の合併症（感染や創離開など）が多いとされています。この合併症を最小限にするために、当科で行っている手術方法（二期的再建にて、穿通枝皮弁による再建手術）の成績やリスクを検証することで、今後の成績向上につなげることが期待されます。

##### 『二期的再建』とは

最初の手術で褥瘡をきれいにする（デブリードマンなど）を行い、後日、褥瘡を治す手術（再建）を行う方法です。

##### 『穿通枝皮弁』とは

褥瘡周囲の皮膚を移動させて治す方法を皮弁術といいます。その中で、安定した皮弁にするために栄養する血管（穿通枝）を確認し、それを含めて作成した皮弁を穿通枝皮弁といいます。

#### 3．研究期間

病院長の許可後 ～ 2026年8月31日

#### 4．利用または提供の開始予定日

2023年9月19日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

## 研究に用いる試料・情報について

### 1. 試料・情報の内容

年齢、性別、部位（仙骨尾骨部もしくは坐骨部）、前手術（デブリードマンなど）から再建手術までの日数、および、その日数のうち局所陰圧閉鎖療法が施行されなかった日数、BMI、ASA-PS、皮弁の大きさ、深達（骨に達するか否か）、再建手術時間、再手術の有無を調査します。他、再建手術時間の内訳（皮弁作成時間など）、細菌培養検査等も調査します。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院 形成外科・美容外科において、研究責任者である齋藤 順平が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

### 2. 試料・情報の取得方法

診療記録（カルテ情報）等を用います。

### 3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・埼玉医科大学病院 形成外科・美容外科 齋藤 順平（研究責任者）
- ・埼玉医科大学病院 形成外科・美容外科 佐藤 智也
- ・埼玉医科大学病院 形成外科・美容外科 市岡 滋

### 4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学病院 病院長 篠塚 望

## お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

連絡先)

埼玉医科大学病院 形成外科・美容外科 齋藤 順平

住所：〒350-095 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38 埼玉医科大学病院 形成外科外来

電話：049-276-1288（土日祝日を除く 9：00～17：00）

○研究課題名：穿通枝皮弁による殿部褥瘡の二期的再建

○研究責任者：埼玉医科大学病院 形成外科・美容外科 齋藤 順平